

「通じた！ホームステイで実感した ピアザの大切さ」

—世界に通じる力を育てる—NPO 法人「多言語広場 CELULAS のメルマガ」—第 62 号—

皆様、年末年始はどのように過ごされたのでしょうか？

私は、これまでホームステイで受け入れた外国の方々と、

新年の挨拶も兼ねてハガキやメールでやり取りし、

みんなの近況を聞くことができ嬉しかったです。

遠く離れた国の人とも、つながることができた縁を大切にしたいものです。

セルラスでは、昨年 12 月 22 日～27 日に

韓国ホームステイ交流に参加し、

新たなつながりを作ってきた家族メンバーたちがいます。

それぞれが心温まる交流をしてきました。

今回はその中から、1 組の親子の体験談をご紹介します。

ことばの体験にも注目です。

【目次】

≪1≫ 「ホームステイで実感した、受け止めてくれる環境の力」

兵庫県明石市 在住 小林さん（小 2 の母）

≪2≫ セルラス インフォメーション

≪1≫ 「ホームステイで実感した、受け止めてくれる環境の力」

兵庫県明石市 在住 小林さん（小 2 の母）

【温かく迎えてくれた家族】

対面式の時、韓国の方たちの雰囲気がとても温かくて、

ホスト家族も私たちが歓迎してくださっていることが伝わってきて、とても嬉しく思いました。

ホストとは、チムジルバン（スーパー銭湯のような韓国式サウナ）や近くの市場、

ソウル市庁なども一緒に行けたのが、楽しかったです。

大きなスーパーや、犬の散歩、地下鉄に乗ったり、

焼肉屋に連れて行ってもらったり、日常生活も体験させてもらいました。

ホストのオンマ（お母さん）とは、家族の話や仕事の話、子供や料理、多言語活動のことなど、

いろいろお話ができて、とても楽しかったです。

ホストの子供たち（兄・高 3 妹・中 3）は、とても穏やかで、小 2 の息子をかわいがってくれて、

本当の兄弟のように接してくれていました。

私が洗い物をしたり、テーブルを拭いていると、お兄ちゃんが「僕がやるので大丈夫です」と

すぐに飛んできてくれたのが、印象に残りました。

アッパ（お父さん）も、あまり行動を共にはできませんでしたが、犬にあげる餌を息子に渡してくれたり、

お肉を食べさせてくれたり、いつもニコニコと笑顔で接してくれていました。

最後の日、息子は念願だったキムパ（海苔巻き）を作らせてもらい、大喜びでした。

3日目の朝食にお好み焼きを作って食べてもらったのですが、あまり上手にできなかったのに、「美味しい」と言って食べてくれたので感激しました。

【知っていることばに出会った! 使えた!】

初日、ホストの家でお兄ちゃんに初めて会った時、私が自己紹介などをしていたら、そわそわし始め、「オジュマリオー」（おしっこ〜）と言ってトイレに行きました。

初めてセルラスの体験会に行った時、耳にしたことばで、私も息子もすぐに思い出し、嬉しかったです! また、食事は一日に最低3回は一緒に過ごす時間。

ちょうどピアザで「食事・韓国編」の場面のロールプレイをしていたので、チャルモケスムニダ（いただきます）など、ほかにもCDの場面にある韓国語がたくさん、口からどんどん出てきて驚きました。

また家族みんながペットの犬に、「アンデ」（ダメ）、「ソン」（お手）、「アンジャ」（おすわり）、「ハイパイブ」（ハイタッチ）と言っているのを聞いて、私も息子もすぐに覚えました。

息子は、写真を撮るときにかけることば、「ハナ、トゥル、セー、キムチ」（1、2、3、キムチ）もすぐに覚えて口にしていました。

【受け止めてくれる環境があるから話すことができる】

ホスト家族も多言語活動をしている家庭。お互いに「これは韓国語で何と言いますか?」

「これは日本語では何と言いますか?」と聞き合ったりしました。

会話も、難しいことばを使うときは、時々翻訳機を使いましたが、お互い「伝えたい」「聞きたい」「分かりたい」という気持ちでジェスチャーや英語も使って話しました。

息子も外国人であるホスト家族に、韓国語や日本語やジェスチャーで物おじせず積極的に話しかけていました。それは、普段ピアザで、シャドウイングやロールプレイをしている時に、たとえ間違ったり、ちゃんと言えなくても、それを受け止めてもらっている体験があるからだと思いました。そしてまた同じようにホスト家族も私たちの思いを受け止めてくれたからだと思います。

ピアザでロールプレイしていた「食事・韓国編」の場面を途中まで「言える」という自信があったのも大きかったと思います。

私にとっても息子にとっても、現地の人に自分の話すことばが「通じた」喜びはとても大きく、普段のピアザでやっていることの威力をしっかりと実感できました。

親子でホームステイできて、一生思い出に残る素敵な体験ができたことを、ホスト家族やセルラスに感謝しています。

《2》 セルラス インフォメーション

◆春の講演会「世界に通じる力を育てる」のお知らせ

2020年の大学入試改革、グローバル化、AI（人工知能）の台頭。

私たちの環境はめまぐるしく変化しています。 未来につながる
人材育成のキーワードは「コミュニケーション力」「多様性への対応力」
「自分で見つける力」です。講演会では、様々な事例を基に、多言語の
習得活動を通して育っていく力についてわかりやすくお話しします。
ぜひ、足をお運びください。また、お知り合いやお友達にもお知らせください。

◎関東

▼東京

【渋谷】 2/6(火) 夜
2/8(木) 午前

【世田谷】 2/27(火) 午前
3/2(金) 午前
3/5(月) 午前

▼神奈川

【横浜】 2/13(火) 午前
2/15(木) 午前

◎関西

▼大阪

【淀屋橋】 2/28 (水) 午前
【難波】 3/1 (木) 午前
【西九条】 3/8(木) 午前
【弁天町】 3/9 (金) 午前

▼兵庫

【宝塚】 2/19(月) 午前
2/20(火) 午前

【明石】 2/22(木) 午前
2/23(金) 午前

開催場所、時間などの詳細は HP をご覧ください。

⇒<http://www.celulas.or.jp/skejur3.html>

◆セルラスでは機関誌『CELULAS(セルラス)』を発行しています。
このメールマガジンと併せてセルラスの活動内容を楽しく紹介しています。
8号では、アメリカや韓国にホームステイしたきた子どもたちの体験や
青少年サマーキャンプ、そして、10カ月の留学を終えて帰国した

2人の高校生の手記も掲載されています。

ホームページでもご覧になれますので、ぜひご一読ください。

⇒ <http://www.celulas.or.jp/kikannshi.html>

このメールマガジンは、セルラスの会員をはじめ、これまでセルラスが開催した講演会、セミナーに参加されるなど、

私たちの活動にご興味を寄せいただいた皆さんにお送りしています。

セルラスの多言語活動や異文化体験、楽しい交流の様子などを、

より多くの皆さんに知っていただくために発行しています。

日頃の私たちの活動やご家族で参加していただけるイベントや講演会などのお知らせを、月2回の予定でお届けします。